



令和6年度地域にぎわいポイント 付与事業事例集

目次

- Mitakanowa (みたかのわ)
- 三鷹市立第四小学校PTA
- 井の頭一丁目町会
- 五小オヤジの会
- 地域ボランティア団体“うず”



【Mitakanowa（みたかのわ）】

実施内容

【小さな夏祭り】

2024年7月20日(土)

地域の子供達に向けて小さな夏祭りを開催しました。子供達がお小遣いで楽しめる縁日を提供できるよう低予算と手作りにこだわり、近隣の大学生や留学生にボランティアでスタッフに入って頂き地域内での連携を強めました。

【Mitakanowaハロウィン2024】

2024年10月26日(土)

地域の店舗や企業にご協力いただき、お菓子ラリーを行いました。リールートの保安やスポットでの案内、会場のスタッフなど中学生も含めた多くの方にボランティアとして参加して頂き、開催することができました。



ポイント導入の効果

【効果があった事項】

- ボランティアに手を挙げてくれる方は報酬目当てではないですが、+αでポイントを受けとることができるのは地域内での新たなお店の発見などにも繋がり喜んでいただけました。
- イベント運営側としてもボランティア参加者へのお礼を金券や物品で準備するよりも、地域での活動により付与され、地域内での経済活動として使用できる地域ポイントが、より相応しいように思います。

課題や今後に向けたアイデア等

【課題】

- アプリのダウンロードが必須な点。外国人留学生や中学生など、アプリのダウンロードができなかったりスマートフォン自体を持っていないボランティアの方に付与できない点を残念に感じました。
- 今回初めてアプリをダウンロードされる方が多かった。アプリ自体の知名度や有用性が周知されるとより喜んでもらえるのでは。

感想や来年度への抱負

三鷹市内にて地域経済を動かす事も目的であると認識し、地域活性化を目的の一つとしている私達の団体との共通点を見出せました。また、地域ポイントを配布することで、ボランティアに参加して下さる方にも地域活動に参加する意義を感じて頂ける様、微力ながら広報活動の一翼となればと思います。

【三鷹市立第四小学校 P T A】

実施内容

【P T A 役員会・運営委員会】

- 運動会ボランティアの内容の確認や、運動会実施に向けた打ち合わせなどを行いました。四小では遠方の祖父母や単身赴任中の家族向けに運動会のライブ配信を行っておりライブ配信に関する番組内容の打ち合わせなども行いました。

【運動会ライブ前日準備】

- 翌日に実施される運動会に向け校舎内にスタジオを仮設したほか、校内に約500mにわたってカメラケーブルや電源の配線を行い、7台のカメラのスイッチングテストを行いました。また、インターネット回線を仮設して配信のテストも行いました。

【運動会】

- 校長先生の生インタビューなどを交えながら運動会のライブ配信を実施しました。また、学校と連携しながら観覧にくる保護者の誘導なども行いました。

【80周年記念事業・サイエンスショー】

- 四小80周年を記念した事業として、外部のプロダクションに委託してサイエンスショーを実施しました。そのお手伝いとして保護者からスタッフを募集し、ショーの補助をしたほか、観覧の保護者の整理や生徒の誘導などを行いました。



↑運動会ライブ配信の様子
↓サイエンスショーの様子



ポイント導入の効果

【効果があった事項】

- これまで純粋なボランティアとしてP T A活動に協力して頂いていた保護者の方たちに地域ポイントを付与することで、活動に多少でも報いることができたと考えています。また募集する際に地域ポイントが付与されることをP Rすることによって、参加へのハードルを下げることができたのではないかと考えています。

課題や今後に向けたアイデア等

【課題】

- 事前にアプリをダウンロードしてくるよう案内していたものの、当日にダウンロードをした人が複数いたため、付与の作業に手間取った。また、付与条件を満たしているにも関わらず活動の途中で帰宅してしまった人にポイントを付与することができなかった。

感想や来年度への抱負

地域ポイントを活用することにより無償でお願いしていた作業に対価を払うことができるため、ボランティアをお願いする際に感じていた運営側の「心苦しさ」を低減することができました。

今年度は学校内の活動が多かったですが、次年度は地域にも開かれた事業も実施することで、地域社会のにぎわいを創出できればと考えています。

【井の頭一丁目町会】

実施内容

【①防災お茶会】

町会の班（10-15世帯）ごとに、三鷹市防災課による出前講座と班内交流会を実施。町会作成の防災チェックシートで自助の確認、非常用トイレの使い方・黄色いタスキ・災害時在宅生活支援施設の紹介なども含め、町会の防災活動について町会より説明。最後に、参加者の自己紹介をし、各家庭での防災の取り組みなど意見交換をした。コロナ禍で一時中断していたが、今年度から再開し、現在8班で実施。



防災お茶会

【②スマホ相談サロン+スマホを活用した安否確認方法の構築】

現在、毎週火曜日午後1時～3時にスマホ相談サロンを実施。シニア世代がスマホの使い方に慣れ、生活に活かせるようお手伝いをしている。相談者からの質問に対応し、みたか地域ポイント、AIデマンドタクシー、三鷹市公式LINE、安全安心メールなどの登録のお手伝いもした。災害時、町会がスマホを使って住民の安否確認ができるような仕組みを検討中。

スマホ相談サロン



ポイント導入の効果

【効果があった事項】

- ①防災お茶会 ……地域ポイントの付与を案内文に載せたことによって、参加のきっかけになった。
- ②スマホ相談サロン……元々指導チームの対応が丁寧なので、とても人気があるため、ポイント導入による効果があったかは不明。

課題や今後に向けたアイデア等

【課題】

・今回の町会事業については、町会だより、掲示板、Facebookで周知してきたものの、参加者が予想したほどではなかった。このようなイベントについて周知の工夫がさらに必要。

【今後に向けたアイデア】

店舗利用だけでなく、町会独自の「みたか地域ポイント」の活用方法を、みんなで考える場を作りたい。

感想や来年度への抱負

にぎわい創出のため、イベント参加者に対してポイント付与したが、純粋にボランティアだけに付与したほうがいいとの意見もあった。来年度は月2回の町内パトロールにポイントを活用させていただきたい。

【五小オヤジの会】

実施内容

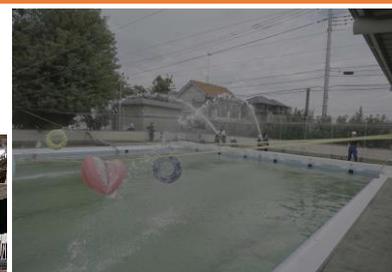
【楽しく防災!五小キャンプ】

子ども（全学年）400名とオヤジ100名が参加して、防災体験等のイベントを楽しむとともに、五小に夜間滞在することで疑似的に避難所体験をしました。

三鷹市地域にぎわいポイントは、活動参加者（オヤジ）の同意のもと、次のイベントの諸費用（炊き出しの食材等子どもたちのための費用）として使用することとしました。

開催にあたっては、教育委員会、学校、市防災課、消防署、消防団、地域の防災士、コミセン、近隣の皆様など多くの方々にご理解とご協力を頂いています。（感謝!）

※五小オヤジの会（五小生の父親による同好会）は、「楽しく防災!五小キャンプ」、「五小まつり」といった子どもたちのためのイベントを行っています。子どもたちに五小での楽しい思い出を一つでも多く加えられるよう、オヤジ自身も楽しんでいます。また、活動を通じて父親同士の交友関係や地域活動への理解を深める場にもなっています。



ポイント導入の効果

【効果があった事項】

ポイントを使用することで、次のイベントの提供食材等が充実し、子どもたちの満足がさらに高まります。また、オヤジにとっては、子どもたちのためのボランティア活動が市からも奨励されていることがポイント付与によっても実感でき、モチベーションが向上します。

課題や今後に向けたアイデア等

【工夫】

ポイントを個人に付与せず、団体として使用することについて、参加者の同意を得る際に、三鷹市地域にぎわいポイント付与事業の趣旨（ボランティア意識の醸成、地域活性化）を丁寧に説明しました。

感想や来年度への抱負

五小オヤジの会の結成は2003年と歴史がありますが、子どもの卒業とともに「五小オヤジ」も卒業するため、毎年度新しいメンバーで活動します。次年度の新メンバーでの活動においても、三鷹市地域にぎわいポイントを活用して、ボランティア活動をより充実させたいと考えています。

【地域ボランティア団体“うず”】

実施内容

- **音楽創作劇 シートピアを求めて～宇宙船ノア号の旅（七夕編）～**
七夕に開催。織姫と彦星が深海を旅する物語を通じて、海のプラごみ問題について啓蒙した。
- **たのしい深海ギョツ！のお話（2回）**
くじら号とうずのコラボイベントを開催。海の歌、江戸小唄、深海生物クイズなど、楽しみながら学べる機会とした。また、佐藤孝子博士による深海生物の講演や、音楽会を開催。
- **うずうず森 森の図書館 ～大人向け～**
ネイチャーゲーム「宝さがし」や音楽劇「銀河鉄道の夜」を通じ、自然や音と共鳴する特別な体験を共有。
- **うずうず森 森の図書館 ～親子向け～**
なんじゃもんじゃの森で、絵本の読み聞かせ、音楽紙芝居、クイズ、木の実を使ったクラフト活動など親子が楽しめるイベントを開催。
- **みたかエコマルシェ**
ワークショップやスペースあいでの音楽会を実施。再エネの啓発に貢献。
- **音楽創作劇「シートピアを求めて～クリスマス編～」（2回）**
サンタやトナカイたちと一緒に歌とお話やクイズで知識を深めつつ、海の世界

問題について、楽しくかつ詳しく学べる機会とした。

- **畑のバクテリアについて学ぼう**
自然農法の畑にて、微生物の働きやその農法を学び、収穫も体験。
- **公開講座「再エネ自給率800% デンマークロラン島から吹く風」**
デンマークロラン島在住ニールセン北村朋子氏が、再エネ800%に到る土台となったデンマークの環境政策や民主主義教育について講演し、参加者75名が熱心に聴講。第2部では発電体験やワークショップも行われ、子どもから大人まで楽しめるイベントとなった。



講演風景

森・歌の時間「クイズ、なんじゃもんじゃの木？」

ポイント導入の効果

【効果があった事項】

- 前年よりも、付与額が高くなったことで、ボランティア活動に弾みがつきました。
- 昨年よりも、参加者からの付与希望が増えてきました。知名度が上がってきたと感じました。
- 材料費の支払いの50%にメンバーそれぞれが活動で貯めたみたポを使うワークショップを開催しましたが、主催者本人も参加者も、とても喜んでいました。昨年よりも、実際に使える場が増えてきたことが、この企画に繋がり、相互扶助の促進、地域ポイントの小さな循環を起こせました。

課題や今後に向けたアイデア等

【課題】

- 参加者多数のイベントで、付与の際に多少手間取ったため、今後は付与担当者をあらかじめ決めておくことにした。

【今後に向けたアイデア】

- 助成金を使わないイベントで参加費をみたポで可能なイベントを、実施してみたい。
- 5000Pを貯めたメンバーが、天体望遠鏡と交換したので、ナイトネイチャーゲームなどを開催し、星空観察会もできればと思います。

感想や来年度への抱負

- 地域通貨の大切さがもっと理解され、付与希望者が増えるよう、付与する際に、簡単なクイズに答えて頂くことで楽しく交流を持ち、みたポを身近に感じて頂けるようにしたい。例えば、5000ポイントを貯めると、何と交換できるでしょうか？など。
- 誰でも歌える、簡単なみたポのテーマソングを作るなどして、もっと、みたポ利用者を増やしたい。